

株式会社インターネットイニシアティブ

[東証一部: 3774]

会社説明会

<http://www.iij.ad.jp/IR/>

2007.8.31

日経IRフェア2007 STOCKWORLD

ブース番号
46

● 日本のインターネットはIIJから始まった

- 1992年、インターネットの研究開発活動に携わっていた技術者が集い、日本にインターネットを普及させようという構想をもって設立

● 世界トップレベルのインターネット技術者集団

- ネットワーク、サーバ等の構築・運用で圧倒的な強み
- IPv6、RFID、SEIL/SMF等、研究開発でも業界をリード

● ユニークなビジネスモデル

- インターネット接続サービスから各顧客のニーズに応じたシステムインテグレーション、構築したシステムの運用・保守までをトータルに提供する業界唯一のビジネスモデル

● 大企業を中心とした優良顧客基盤

- 信頼性を重んじる大企業・官公庁を中心とした約6,500社の優良顧客
- 各業界売上トップ10企業における高い浸透率

● 追い風のマーケット環境

- 企業の本業でのインターネット利用が本格的に進展(オンライン証券/オンラインゲーム等)
- 拡大するインターネットの脅威(セキュリティ対策が必須)

日本におけるインターネット接続事業者の草分け

- 1992年に設立
- 独立系インターネット接続事業者
- 様々な、「日本初のサービス」をマーケットへ展開
 - インターネット接続サービス、ファイアウォールサービス、IPマルチキャストサービス、サービス品質保証制度(SLA)、IPv6商用実験サービス、送信元検証、等。

「インターネット技術」をコア・コンピタンスとした会社

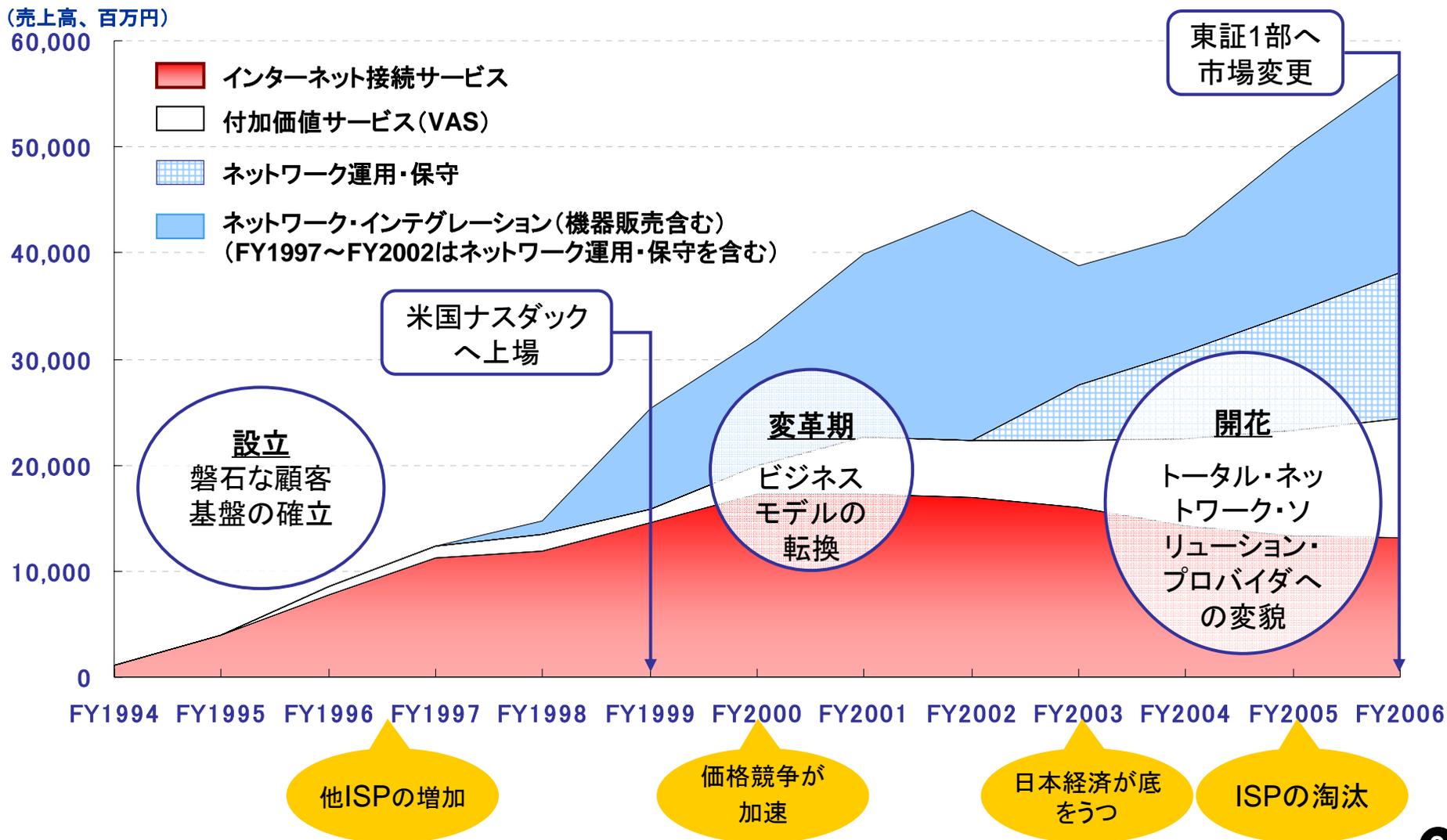
- インターネット事業を専業とする唯一の会社
- インターネット事業を「ゼロ」から「自分たちの手で」作り上げた実績
- 日本で最大級のバックボーンを運営

業界における技術・研究開発の牽引役

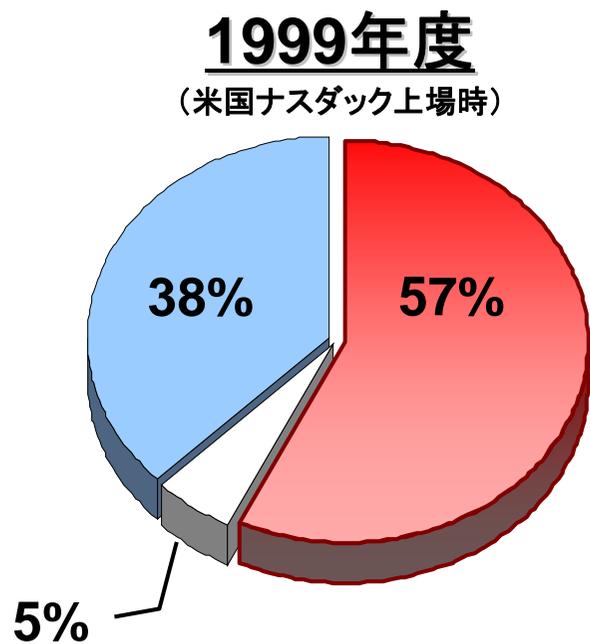
- 総務省委託研究への共同参画
- セキュリティに関する世界的な活動団体「FIRST(ファースト)」や日本における「テレコム・アイザック推進会議」への参加
- 迷惑メールの対策を検討・実行する「JEAG(ジーク)」の立上げ
- IPv6、モバイルIPv6等、次世代の情報基盤技術の研究開発への取り組み

社会インフラとしてのインターネットを責任を持って担う企業集団

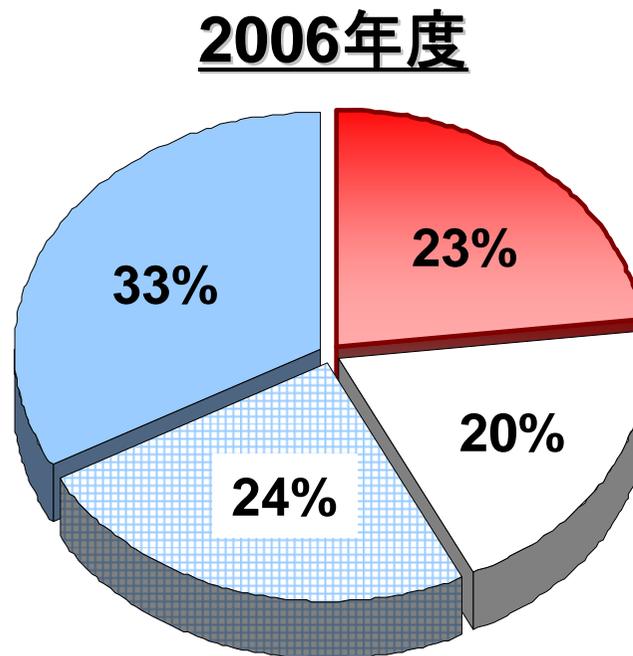
売上高推移にみるビジネスモデルの転換



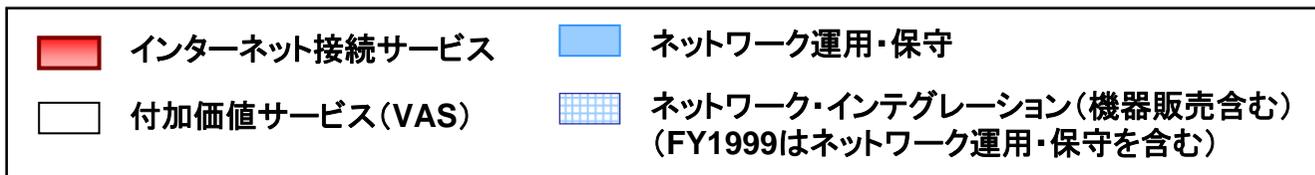
インターネット接続事業者から トータル・ネットワーク・ソリューション・プロバイダーへ変貌



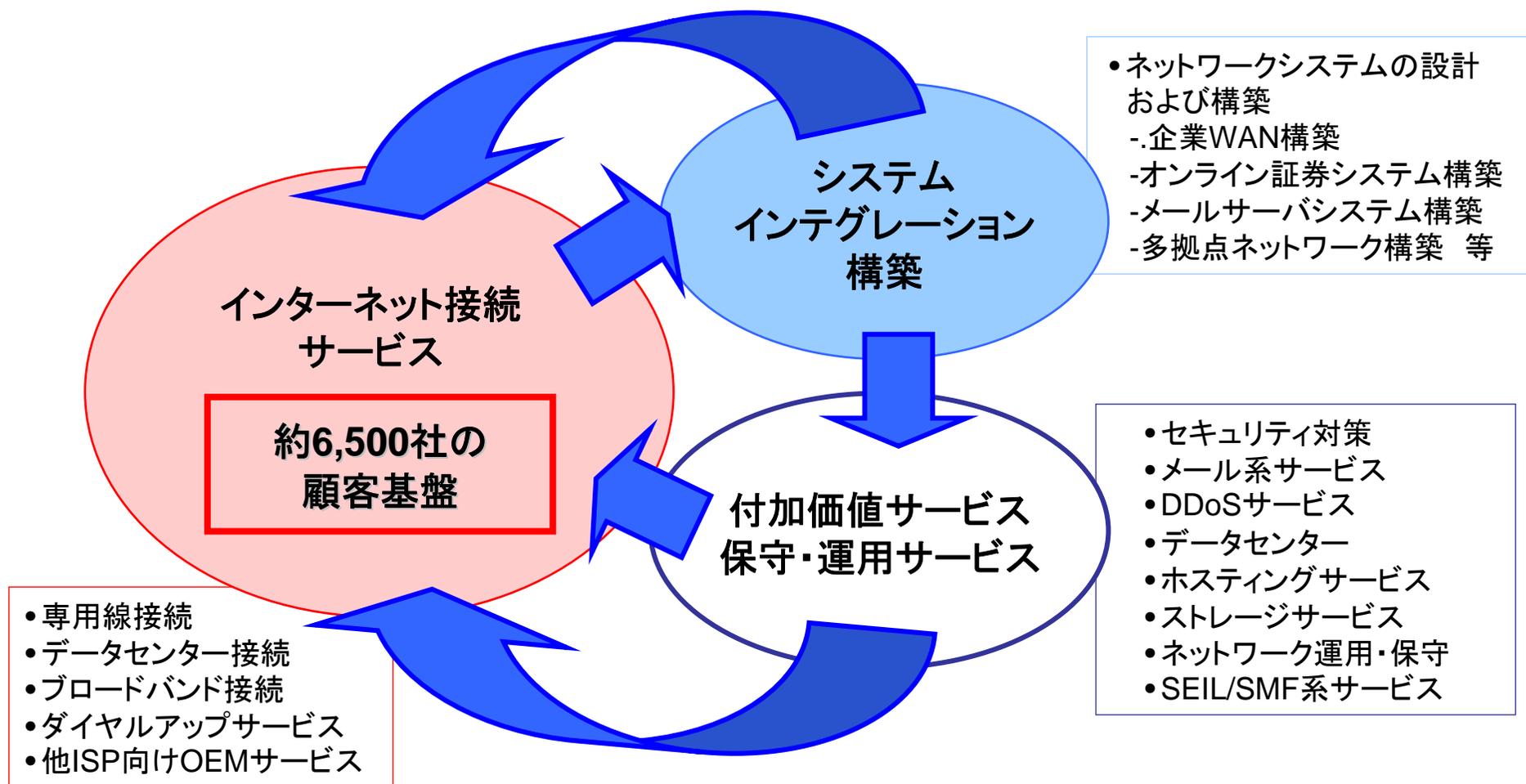
売上高 253億円



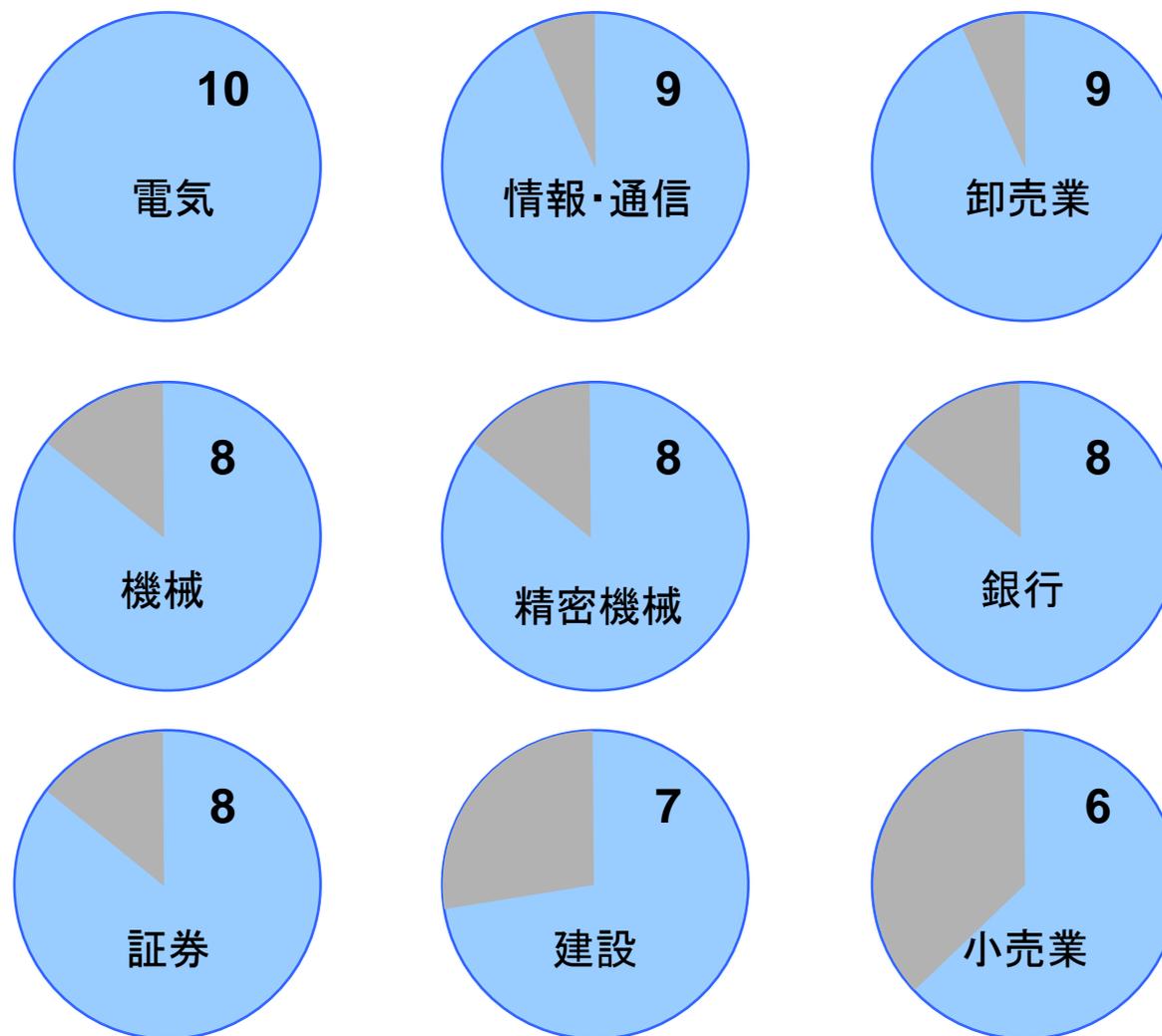
売上高 571億円



高度のIP技術力を背景に、約6,500社に及ぶ優良な顧客基盤に対して
高付加価値なネットワークサービスを提供



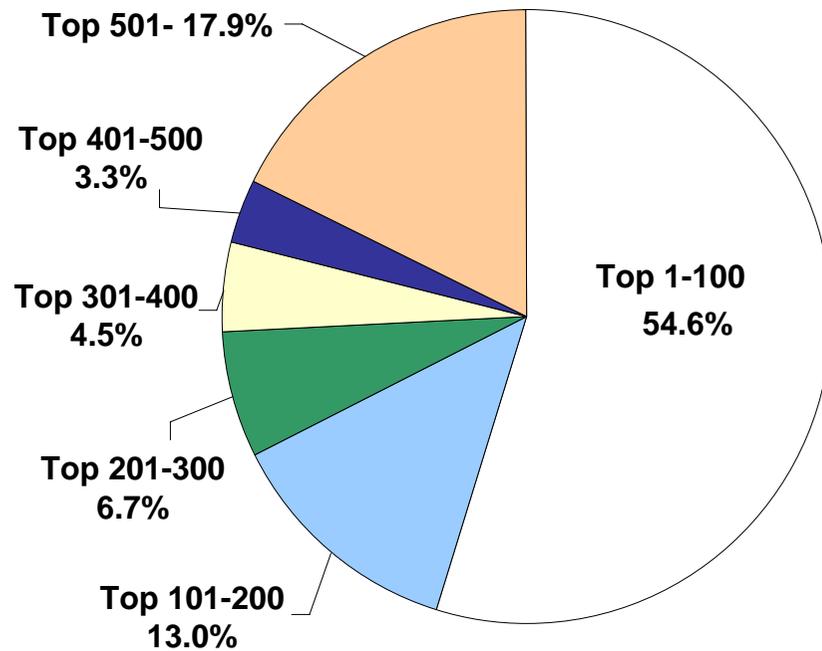
業界毎の連結売上高トップ10企業中、当社がサービス提供をしている企業数



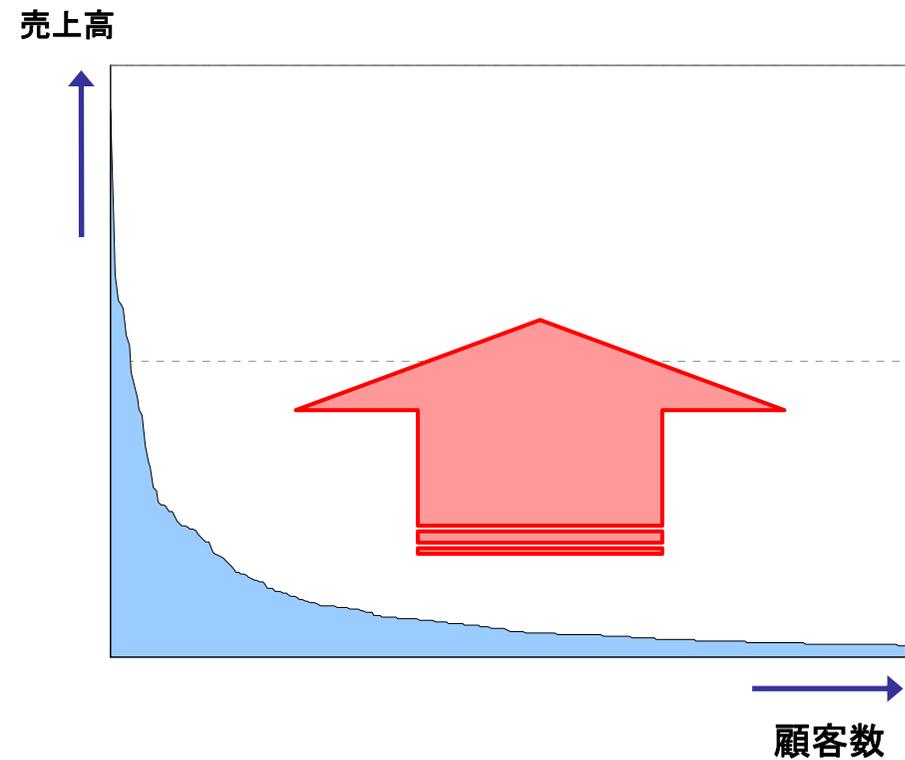
(出典) 東洋経済新報社「会社四季報」(2006年3集)、及び日本実業出版社「業界シェア&市場規模」等から当社作成

既存顧客に対する深堀を推進

売上高別の売上占有率



売上高別の顧客分布

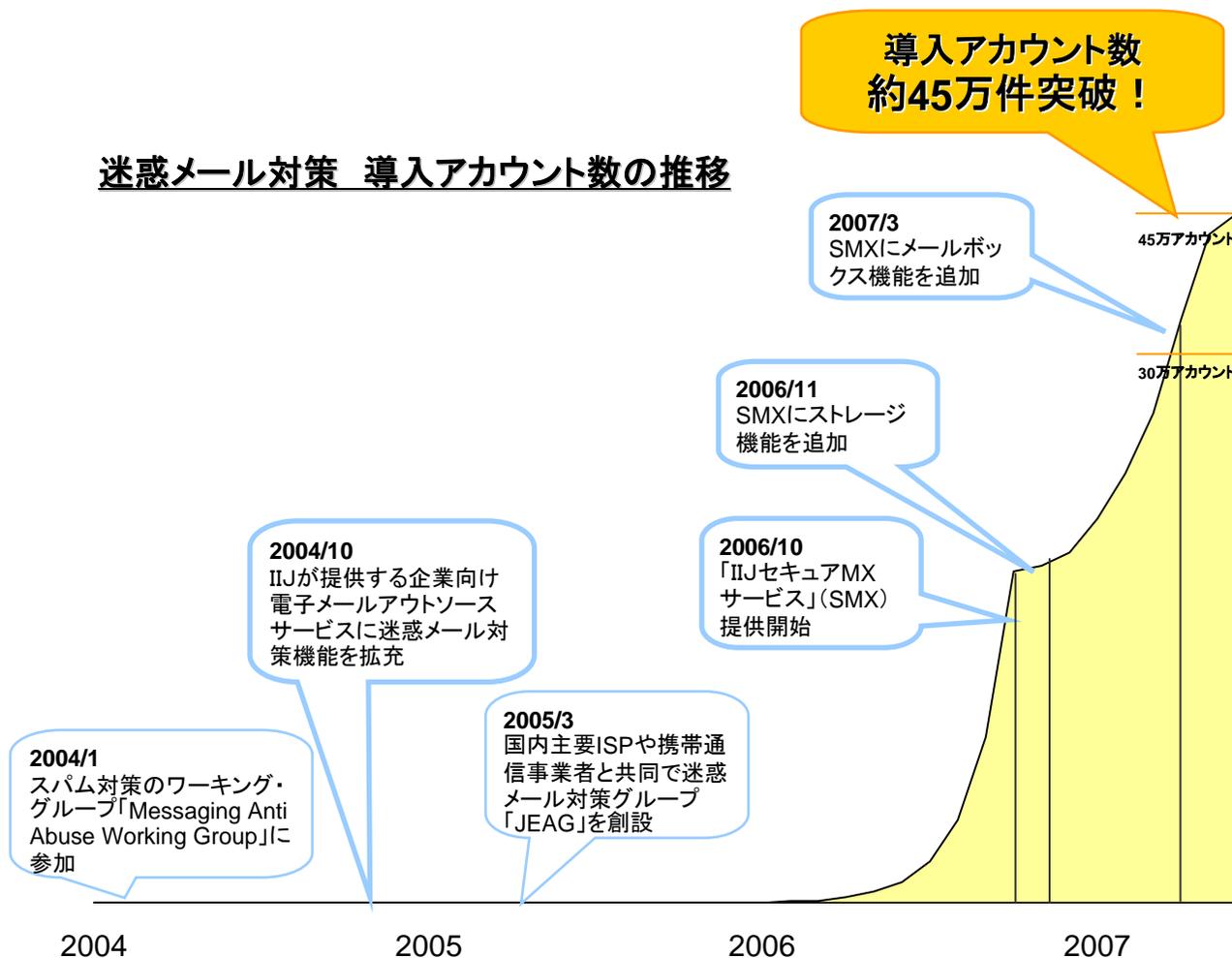


(出典)IIJ単体売上高より当社作成

付加価値サービスの一例(メールセキュリティ系サービス)

- 昨今の迷惑メールの増加に伴い、IIJの提供する「IIJセキュアMXサービス」へのニーズが急拡大。
- 大手既存顧客を中心に導入が進展。今後も約6,500社の既存顧客および新規顧客への提供を推進。

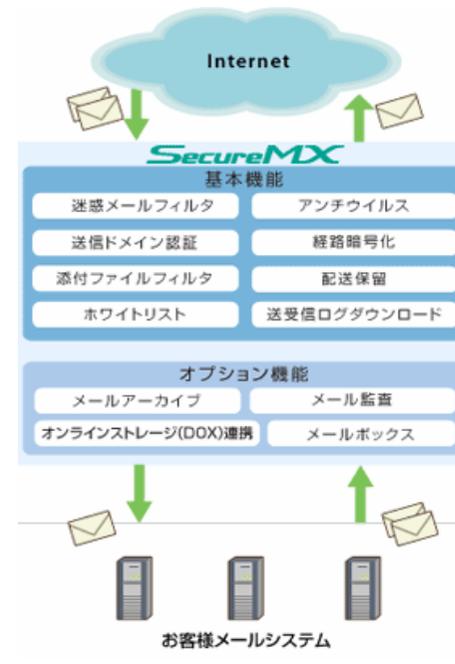
迷惑メール対策 導入アカウント数の推移



IIJセキュアMXサービス概要

企業内のメールシステムとインターネットの間に設置したIIJのゲートウェイサーバを介して、迷惑メール対策をはじめ、送信ドメイン認証、メール送受信経路の暗号化、メールの全文保管など、メールに関するあらゆるセキュリティ機能を提供するASPサービス。

サービスイメージ



トータル・IP・ネットワーク・ソリューションの提供

通信事業者
(NTT, KDDI)

電話事業に強み

- 負担の多い設備投資
- IP技術者不足
- システム構築や運用に卓越していない

IIJ

Internet Initiative Japan

IIJグループ

IPプロフェッショナル集団

- ・優良な顧客基盤
- ・日本で最大級のバックボーンネットワークを運用
- ・ネットワークサービスを自社で開発
- ・バランスのとれたビジネス構造

システムインテグレーター
(NEC、富士通、IBM)

ホストコンピュータ
等に強み

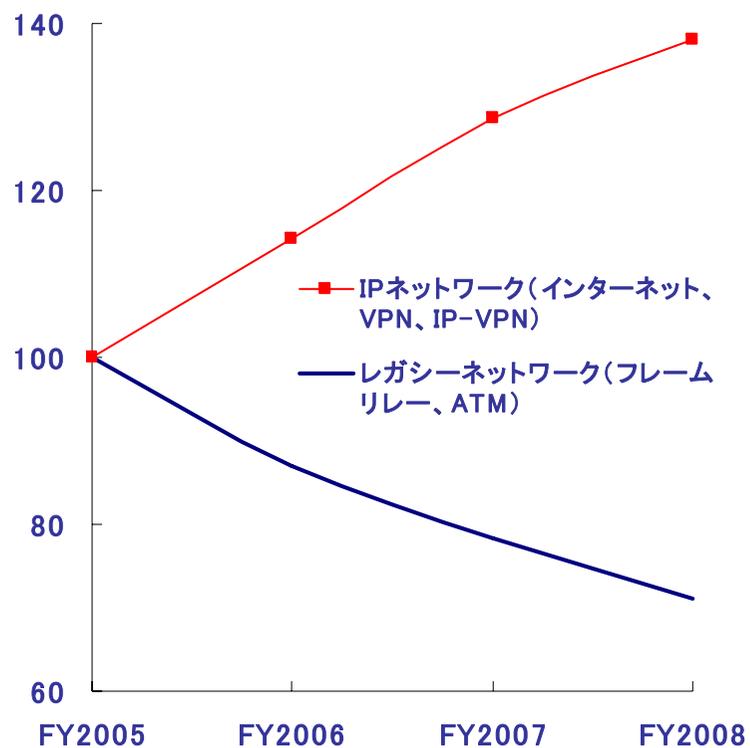
- 特定の大企業顧客へ依存
- 機器販売の収益モデル

ネットワークサービスの提供

IP技術を基にしたシステム構築の提供

伸びが見込まれる国内ネットワーク市場

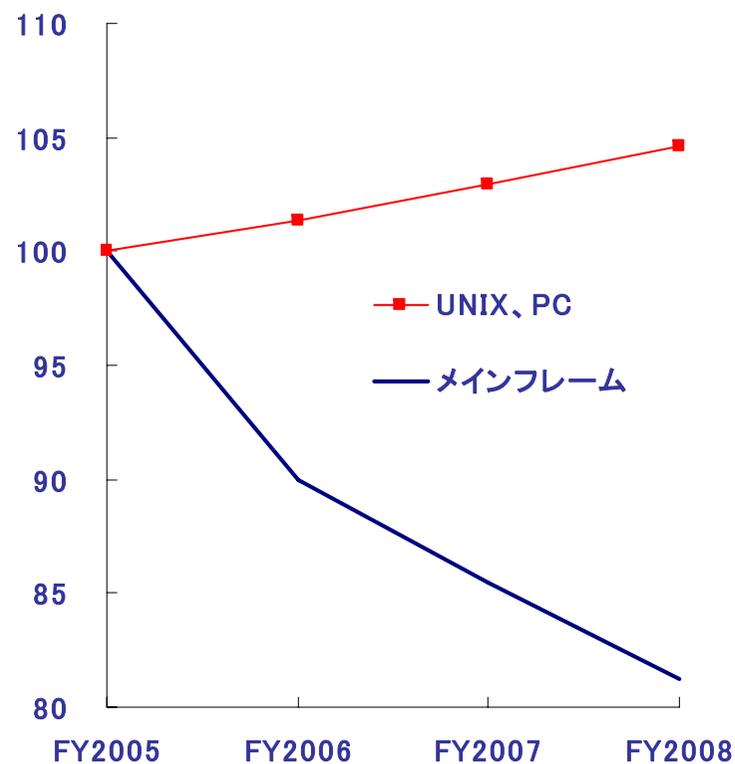
(2005年初=100)



(出典)MM総研“M&DLレポート(2007年1月)より当社作成

伸びが期待される企業のIT支出

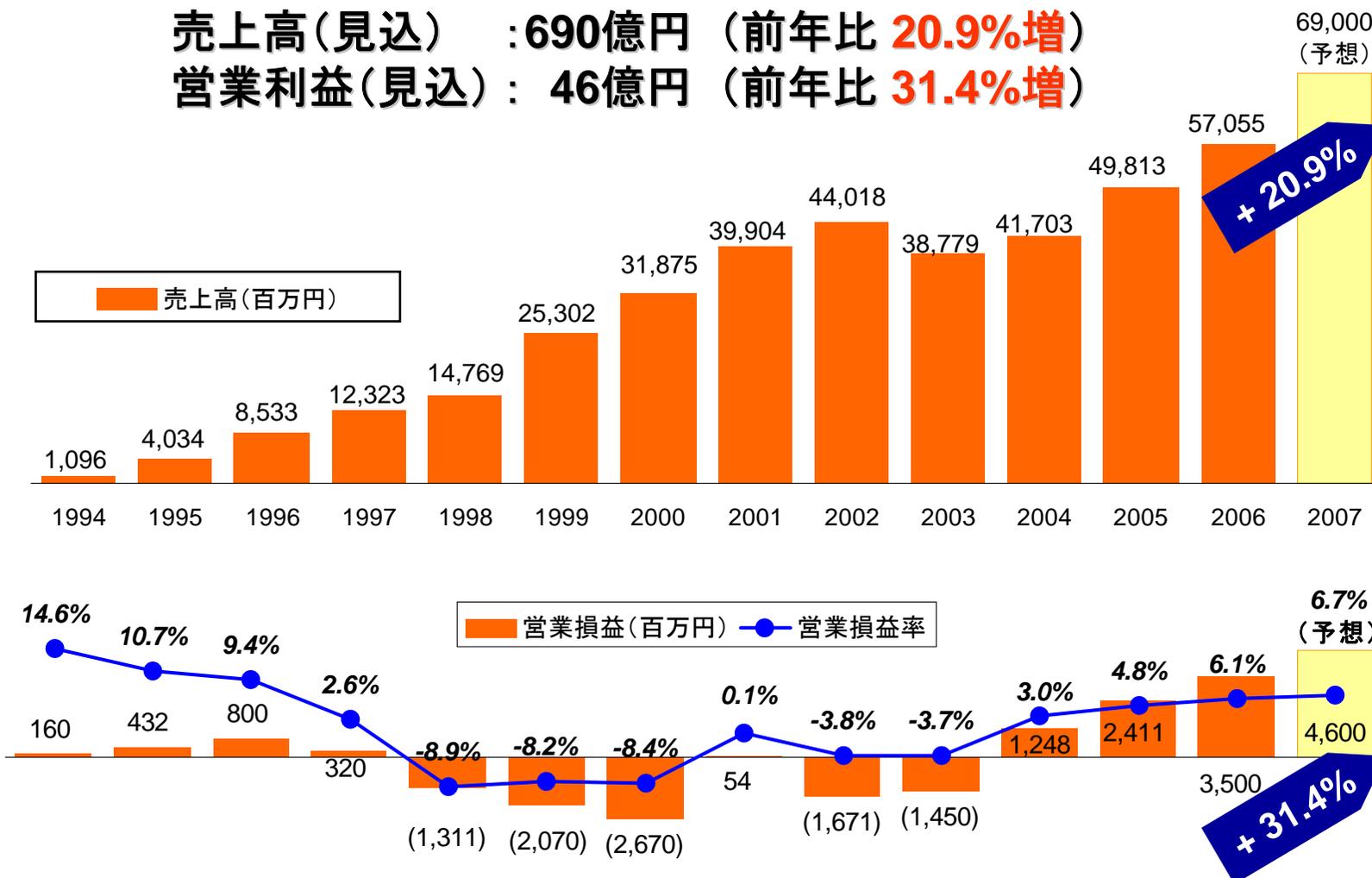
(2005年初=100)



(出典)電子情報技術産業協会

2007年度も大幅増収増益の見通し

売上高(見込) : **690億円** (前年比 **20.9%増**)
 営業利益(見込) : **46億円** (前年比 **31.4%増**)



会社概要(2007年3月末現在)

社名	株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)	役員	代表取締役社長	鈴木 幸一(CEO)	
設立年月日	1992年(平成4年)12月3日		取締役副社長	浅羽 登志也	
所在地	東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング		取締役副社長	久本 吉亮	
事業所	関西支社、名古屋支社、札幌支店、 東北支店、北陸支店、中四国支店、 九州支店、沖縄営業所、豊田営業所		専務取締役	保条 英司	
資本金	14,295百万円		取締役	三膳 孝通	
従業員数	1,155名(連結)、560名(単体)		取締役	渡井 昭久(CFO)	
主要株主	日本電信電話株式会社		24.7%	取締役	久島 広幸
	米国市場浮動株式		16.0%	取締役	時田 一広
	鈴木 幸一		6.1%	取締役	島上純一
	伊藤忠商事株式会社		5.1%	社外取締役	棚橋 康郎 (新日鉄ソリューションズ(株) 代表取締役会長)
	NTTコミュニケーションズ	5.0%	社外取締役	廣井 孝史 (日本電信電話(株))	
主要取引銀行	三井住友銀行 本店営業部		社外取締役	西川 善文 (日本郵政(株)代表取締役社長)	
	みずほコーポレート銀行 本店		社外取締役	古河 潤之助 (古河電気工業(株) 取締役相談役)	
	三菱東京UFJ銀行 日本橋中央支店		取締役	山本 泉二	
	三菱UFJ信託銀行 本店				
		発行済株式数	206,478株(2007年5月11日現在)		
		公開市場	東京証券取引所第一部 (2006年12月東証マザーズより市場替え、 証券コード:3774) 米国ナスダック・ナショナルマーケット (1999年公開、ティッカーコード:IIJI)		